

アグロフォレストリーを通じた食料安全保障、強靱性及びネットゼロへの貢献

11月13日（木） 23:30-23:55（日本時間） @アグリゾーン

インドネシアは、豊富な自然資源と多様な生態系を有する一方で、人口増加と土地利用の拡大により、食料安全保障と森林資源の持続的利用の両立が大きな課題となっています。さらに、気候変動の進行に伴い、降雨パターンの変化や干ばつなどが農林業生産に深刻な影響を与えており、農業・林業・気候変動対策を一体化した土地利用戦略が求められています。

このような課題に対し、アグロフォレストリーは、食料生産と森林保全を同時に実現する有望なアプローチとして注目されています。アグロフォレストリーは、農作物と樹木を同一地に共存させることで、生計の多様化、土壌保全、水循環の改善、炭素固定など、多面的な環境・社会的便益をもたらします。

また、チーク（*Tectona grandis*）はインドネシアにおける主要な商業樹種であり、その高い経済価値と比較的高い乾燥耐性により、気候変動下でも持続的な木材供給を可能にするレジリエンスを有する樹種として期待されています。今後、チークの遺伝的多様性と適応性を活かした植林手法の確立は、森林政策・農業政策双方において重要な位置を占めると考えられます。本セミナーでは、気候変動に対するレジリエンスを有するアグロフォレストリーと植林に関する最新のテクノロジーを報告します。

1. 開会挨拶

農林水産省農林水産技術会議事務局長 堺田 輝也

2. プレゼンテーション

1) 食料安全保障、森林の持続可能性、気候変動適応を実現するための集約的アグロフォレストリー

ガジャマダ大学 ウィディヤトノ教授

2) 熱帯林業における適応策と緩和策～森林遺伝資源を用いた戦略～

国際農研主任研究員 谷 尚樹

3. 閉会



お問合せ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 国際研究官室
電話番号：03-3502-7467

（国研）国際農林水産業研究センター 情報広報室
電話番号：029-838-6708



視聴URL
(YouTube)



研究成果
(アグロフォレストリー)



研究成果
(チーク遺伝資源)